



ダウンライトで落ちていた雰囲気が醸し出された横浜ベイエリアが一望できるLDK(モデル住戸:専有面積約83m²)

ザ・タワー横浜北仲

THE TOWER YOKOHAMA KITANAKA

市民の展望フロアも設けられた 港町・横浜の新たなランドマーク

高層ビルが立ち並ぶ“みなとみらい21地区”と、古き良き横浜の景観が残る“関内地区”の結節点、北仲エリア。ここに、横浜市最高層・最大規模となる総戸数1,176戸の分譲住宅と宿泊施設、文化施設、商業施設を一体化した開発が進められている。建物基壇部では赤煉瓦の歴史的建築物が復元・保存されて文化施設、商業施設として生まれ変わり、みなとみらい線「馬車道」駅と直結。新しい横浜市新市庁舎と地下で繋がり、ペデストリアンデッキによる回遊動線を形成することで、当施設は北仲エリアのハブ機能を担う。

超高層タワーの46階には市民に開放された展望フロアが設けられ、この階から51階まではホテル。5~45階、52~58階が、港町・横浜が眺望できるロケーションの分譲住宅となる。「洗練された大人の街・横浜に、上質なものを大切にする人に住んでほしいと計画した」と三井不動産レジデンシャル株式会社横浜支店開発室の大熊 麻祐子氏。「これまで鹿島建設株式会社とタッグを組んでプロジェクトを進めてきた実績から、内装工事はパナソニックES建設エンジニアリングに分離発注。お客様の多様な要求に良いものを提供しようと姿勢を評価しました。今後は唯一無二ともいえる大プロジェクトを、共に進めていきたい」と語る。



ザ・タワー横浜北仲

所在地 / 神奈川県横浜市中区北仲通
建築主 / 三井不動産レジデンシャル株式会社、丸紅株式会社
設計 / 鹿島建設株式会社
建築工事 / 鹿島建設株式会社
内装工事 / パナソニックES建設エンジニアリング株式会社
構造 / 鉄筋コンクリート(一部鉄骨造)、地上58階 地下1階
総戸数 / 1,176戸、ホテル(46~51階)
竣工 / 2020年2月



フロアに段差が設けられているモデル住戸のLDK
(専有面積約21m²)



掘上天井のモデル住戸のLDK
(専有面積約129m²)



左ページのモデル住戸に設置された
i-X UNIT BATHROOM



モデル住戸のLDK(専有面積約75m²)



主な設備

- i-X UNIT BATHROOM
- マンションインターホンWindea
- スイッチ(アドバンスシリーズ)
- LED照明
- ディスポーラーサイステム

* CG画像提供:三井不動産レジデンシャル株式会社、丸紅株式会社
**当物件は完売済です。